

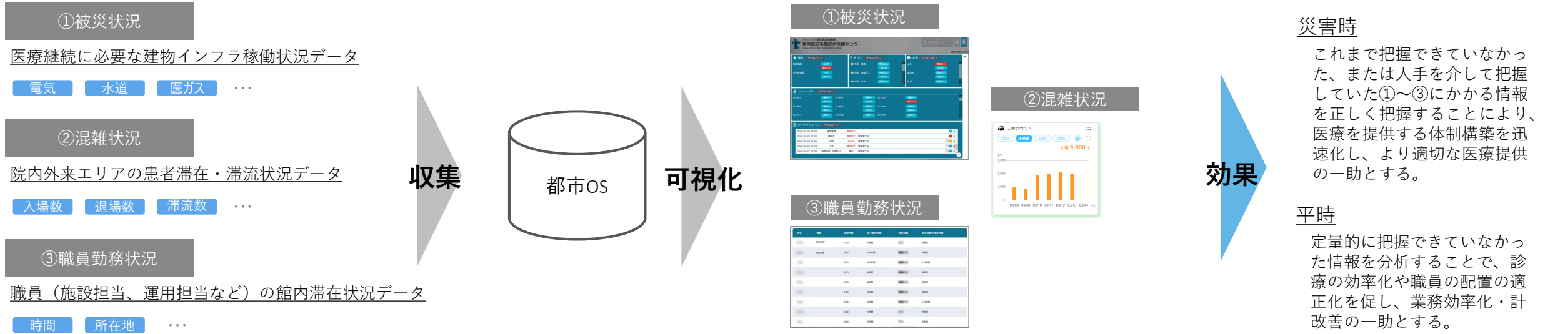
事業概要

「医療資源の見える化と共有」により、都民への医療提供の迅速化を図る

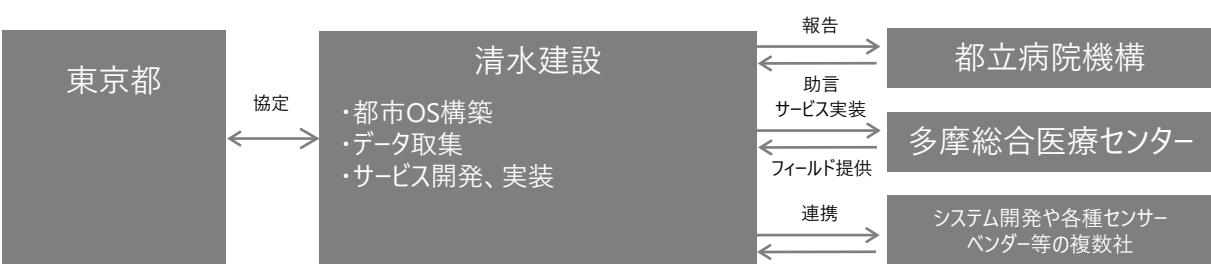
府中市に所在する多摩総合医療センターを中心としたエリアにおいて、都民への医療提供の迅速化を図るため、多摩総合医療センターにおける災害および感染爆発時の医療機関の医療資源を被災状況を含めて見える化・共有し、医療提供の迅速化の一助となるサービスの開発に取り組んだ。また、災害時のみならず平時においても”転用“できるようなサービスの開発を行った。

取組内容

3つの領域のデータを都市OSに自動収集・リアルタイム可視化することにより医療資源を一元的に把握し、最適な医療提供の一助とする



実施体制



今後のスケジュール



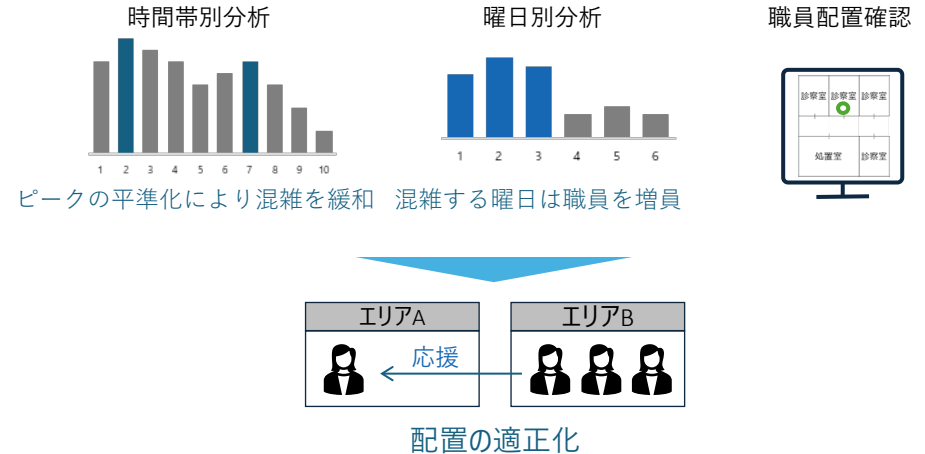
都内を中心とした災害拠点病院、ならびに周辺自治体への展開を図る。災害時・平時双方での利用が可能で以下の展開を行う。

平時

本事業により構築したサービスによる分析は、患者の混雑度合が大きいほど、また職員数が多いほど効果が見込める。特に東京都内の病院は上記に合致する可能性が高く、東京都のPJや他の事業体とも連携し横展開を図る。

平時における活用（イメージ）

混雑状況を分析により状況を分析し、職員勤務状況に応じて配置を最適化する



業務効率化・経営改善の一助とする